

# 株主通信 第59期

2022年4月1日～2023年3月31日



## Contents

Top Message .....	1	HARMONIZE Topics .....	7
J B グループ八重洲オフィス .....	3	HARMONIZE お客様事例 .....	8
決算ハイライト .....	5	人財育成への取り組み .....	9
中期経営計画「HARMONIZE 2023」進捗状況 .....	6		

**JBCC**  
holdings

JBCCホールディングス株式会社  
証券コード:9889(東証プライム市場 情報・通信業)

## 事業構造の変革により、継続的成長を実現する強固な経営基盤をつくる ことができました。 グループ60年目、新たなステージでさらなる成長を目指します。

株主の皆様、いつも当社をご支援いただきありがとうございます。  
ございます。

第59期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績は、グループ全体で推進してきた事業構造の変革が成果として表れ、売上高は58,144百万円(前期比+4.0%)、営業利益は3,764百万円(前期比+22.1%)となり、増収増益を達成しました。営業利益は過去最高益を更新し、2024年3月を最終年度とする中期経営計画「HARMONIZE 2023」(2022年3月期～2024年3月期)の目標値については、1年前倒しで達成しています。好調な業績を反映し、2023年3月期の期末配当金については37円から41円に引き上げ、年間配当金は72円となりました。

—昨年発表したトータルITサービス「HARMONIZE」では、お客様の働き方の変化や競争力強化のニーズに対応したサービス&ソリューションを提供できており、クラウド、セキュリティのストックビジネスを順調に伸ばすことができました。また、超高速開発は、業種・業務のノウハウに加え、お客様自身でシステムの内製も可能という柔軟な開発手法が、パッケージや他のSierとの差別化に成功し、過去最高の受注高となりました。

長く続いた新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せ、企業のIT投資意欲は一層高まっていると感じています。また、生成系AIと分類されるChatGPT(\*)のような革新的なサービスも登場し、IT市場はさらに発展・活性化す

ることでしょう。

引き続き、「HARMONIZE」のクラウド、セキュリティ、超高速開発に注力すると同時に、AIやデータ分析等の分野にも取り組みを進め、高度なIT技術をお客様にとって本当に役立つサービスとして提供できるよう、挑戦していきます。

今年、当社は創立60年目を迎えました。2月に移転した新しい八重洲オフィス(東京・中央区)は、社員が自ら「仲間とこんな働き方がしたい」と考え、つくり上げたオフィスです。この新しいステージから、継続して成長路線を描けるよう、グループ一体でさらに邁進していきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

東上 征司

\*高度なAI(人工知能)技術のサービス。人間が会話するような自然な文章を生成し、質問に回答できるのが特長。

# コンセプトは“Tsunag (つなぐ)” ~ 仲間と『つながり』、お客様と『つながり』、未来へと『つなぐ』 ~

## 社員が自らつくり上げた、新たなコミュニケーションの場

J Bグループは、働き方のさらなる変革を目指し、東京駅に直結する東京ミッドタウン八重洲に本社を移転しました。テレワークが浸透し、「働く」ことは場所を選ばず、どこでもできる時代だからこそ、対面での会話から広がる自由な発想で、仲間やお客様と新たな価値を共創する、新しい働き方を実現していきます。



## グループ各社のメンバーが集まり、多様なアイデアでオフィスづくりを推進



C & Cビジネスサービス株式会社  
ファシリティ担当  
くさち きょうこ  
**草子 恭子**さん

いろんな職種のメンバーが集まり、オフィス移転のタスクチームを結成しました。コンセプトである「Tsunag」を体現

できるよう、タスクメンバーでアイデアを出し合い、オフィスの細部にまでこだわりました。オフィスツアーに参加したお客様から、自社のオフィスにも取り入れたいというお声をいただき、嬉しく思っています。

最も時間をかけたのはコンセプトづくりです。異なるロケーションで活動していたグループ各社が八重洲に集まり、リアルな交流を通してつながって、価値を創造していく。その核となるコンセプト「Tsunag」を生み出したことで、新しい働き方の発信地となるオフィスが誕生したと思っています。



J B C C株式会社  
事業経営管理 グループ管理  
よしかわ なおき  
**吉川 直毅**さん

### 八重洲オフィス見学会のご案内

株主の皆様向けに八重洲オフィス見学会を開催します。J Bグループの社員がいそいそと働く新しいオフィスをご覧になりませんか?ご希望の方は下記Webサイトより、お申込みください。

**日時:** 2023年9月予定  
※お申込みは7月3日(月)~となります

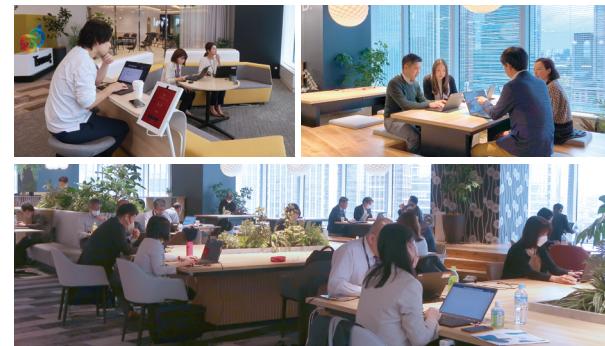
**場所:** J Bグループ八重洲オフィス  
東京都中央区八重洲二丁目2番1号  
東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー13階

**参加費:** 無料 (オフィスまでの交通費は、各自ご負担ください)  
**募集人数:** 20名 (お申込み多数の場合は、抽選になります。  
株主様ご本人のみとさせていただきます)

※お申込み・詳細は下記URLを参照ください  
<https://www.jbcchd.co.jp/yaesu2023/>



## コミュニケーションを高める空間



偶発的な出会いのきっかけ

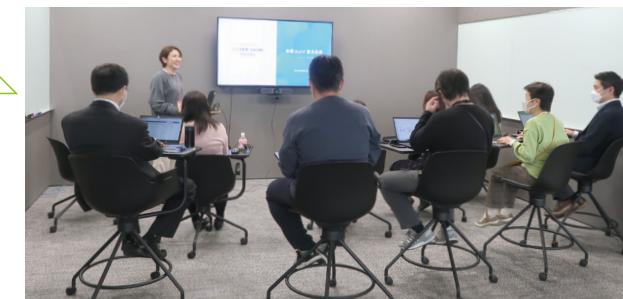
### 情報/発散のエリア Information

オープンな会議スペースなど、組織の垣根を越えて気軽に情報交換ができる「情報/発散のエリア」。緑や木のぬくもりを感じる空間でリラックスして発想力を高め、社員同士が対話をしながら働いています。併設のカフェには毎日多くの社員が訪れ、偶発的な出会いが生まれています。

## 新しい価値を生み出す

### 創出のエリア Creation

膨らませたアイデアを実際の成果物につなげていく「創出のエリア」。左右にホワイトボードを備える空間では自由に闊達な意見交換を行えます。このほか、モニター設置デスクや電話・ビデオ会議禁止の集中スペースなど、社員が仕事内容に応じて自在に選べる場が整っています。



お客様とつながる

### 発信のエリア Transmission

アイデアをアウトプットし、社内外へ情報発信する「発信のエリア」。お客様との打ち合わせルームのほか、ウェブ配信や動画作成の機材を備えた、全面ガラス張りのWebスタジオを設置しています。エントランスには大型モニターを設置し、イベント開催にも利用しています。

※4月のグループキックオフでは、Web配信スタジオとして活用

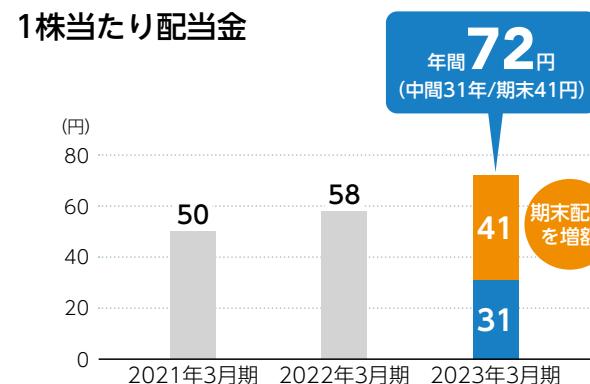
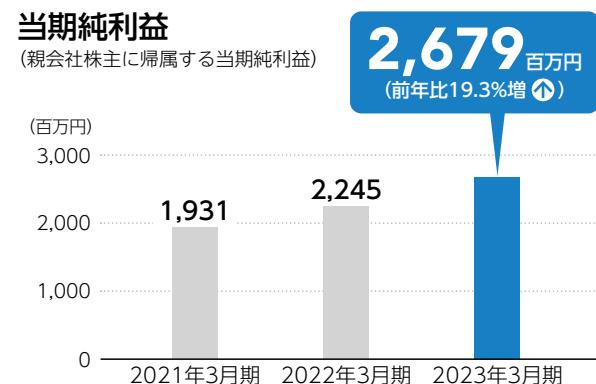
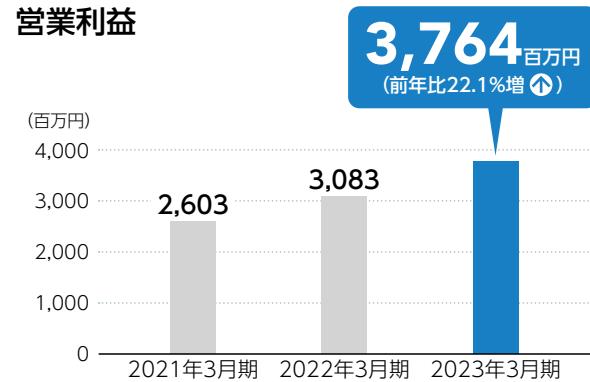
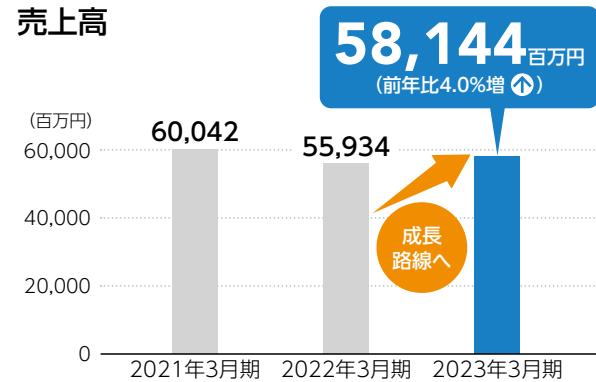


### 八重洲オフィス特設サイト

<https://www.jbcchd.co.jp/lp/yaesu/>



- POINT**
- ▶ 継続して実施してきた事業構造変革により、クラウド、セキュリティを中心とするストックビジネスが大きく伸長し、前年比で増収増益を達成。営業利益は過去最高を更新。
  - ▶ 売上高は、プラス成長に転じた上半期の勢いのまま、期初予想を上回る58,144百万円で着地。営業利益は、第1四半期から連続して前年同期比20%以上の増益となり、通期で3,764百万円。
  - ▶ 売上高、営業利益ともに中期経営計画の目標を前倒しで達成し、期末配当金については37円から41円に増額して年間72円に。



企業のDXを実現するトータルITサービス「HARMONIZE」を推進することでストックビジネスの比率を高め、安定した収益と継続的成長を実現する事業構造へと変革を進めています。2年目となる2023年3月期は「HARMONIZE」の中心的ソリューションである超高速開発、クラウド、セキュリティ、クラウドデータ連携が、それぞれ大きく成長しました。

		2022年3月期	2023年3月期	対前年比	2023年3月期目標
超高速開発	SI全体に占める超高速開発比率	54.7%	60.1%	+5.4pt	比率 70%
	売上高	5,839百万円	7,325百万円	+25.4%	
	受注高	6,292百万円	8,227百万円	+30.7%	
クラウド	売上高*	3,169百万円	4,905百万円	+54.8%	CAGR 46%
	新規受注高*	132百万円/月	167百万円/月	+26.7%	
セキュリティ	売上高*	2,701百万円	3,875百万円	+43.4%	CAGR 42%
	新規受注高*	90百万円/月	130百万円/月	+45.1%	
クラウドデータ連携	累計契約本数	706本	2,321本	+228.8%	10,000本

\*クラウドおよびセキュリティの売上高・新規受注高はストック

### 主な経営指標

	売上高総利益率	売上高営業利益率	ROE	1株当たり当期純利益
2023年3月期	31.0%	6.5%	14.1%	170.55円
2022年3月期	30.4%	5.5%	12.6%	140.26円

### 2024年3月期業績予想 (中期経営計画 最終年度)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり配当金
59,000百万円	4,000百万円	4,100百万円	2,850百万円	80円(年間)



2023年3月期の決算概要および中期経営計画「HARMONIZE 2023」の進捗状況の詳細は、こちらからご参照ください。



## クラウド、セキュリティの技術力とお客様視点でのサービス展開が世界的リーダー企業から高く評価されています。



### クラウド

J B C Cは、お客様のクラウド活用をIaaS（クラウド環境の構築・最適化運用）、SaaS（クラウドサービスの活用促進・定着支援）の両面から支援して、お客様のDX推進に貢献するクラウド活用を実現しています。

その技術力と提案力が評価され、日本全国で1万事業所を超える日本マイクロソフト社のパートナー企業の中からIaaS、SaaSの2部門で賞を受賞しました。



Microsoft Azure  
Solution Assessments受賞  
Office 365/Microsoft 365  
Employee Experience受賞  
(2022年7月)



### セキュリティ

J B C Cは、セキュリティのあらゆる脅威に対応できるサービスを取り揃え、マルチクラウド環境に対応したマネージドサービス（運用付きサービス）を提供しています。

高いセキュリティスキル、24時間365日体制での運用監視、お客様のシステム環境や将来構想に合わせたセキュリティの全体提案等、セキュリティの総合力が高く評価されています。



パロアルトネットワークス社のエンドポイントセキュリティブランド「Cortex」でJAPAC No.1パートナーを2年連続受賞  
※JAPAC：アジア・パシフィック地区  
(2023年1月)

## 超高速開発で、店舗の無人化運営を実現 技術をお客様にとっての価値に変え、お客様のDXに貢献しています。

### GOLFZON Japan 様

GOLFZON Japan様は、韓国GOLFZONの日本法人で、ゴルフシミュレーターの販売および室内ゴルフ店舗を運営されています。

日本市場におけるシェア拡大のため、製品に付加価値をつけたいというGOLFZON Japan様の思いに対し、J B C Cはクラウド技術を活用した超高速開発でゴルフシミュレーターの予約・決済システムを開発しました。さらに電子錠システムと連携することで、ゴルフ練習の予約から入室、決済までを自動化し、店舗の無人化運営を実現しました。他店舗への横展開も進んでおり、同社の新たなビジネス展開を継続して支援しています。



“一番欲しい”を最速で



HARMONIZE  
by JB Group

1/2\*の期間で基幹システムができる超高速開発と、3か月で構築する最強フルクラウドで、お客様がやりたいこと、実現したいことをどこよりも早く実現します。

HARMONIZEが提供する10のソリューションとサービス			
<b>ビジネスモデル変革支援</b> お客様のビジネスモデル変革を一貫してご支援 バリュークリエイトサービス 共創サービス	<b>業務変革ソリューション</b> お客様の業務変革を、最適なソリューションでスピード実現 超高速開発 SaaS デジタル業務ソリューション クラウド連携ソリューション	<b>プラットフォーム変革ソリューション</b> お客様のインフラ変革を、最適コストでおまかせ構築 IaaS セキュリティ	<b>コラボレーションサービス</b> お客様との統一窓口で、役立つ情報をご提供 ポータルサービス コミュニティ

\* 2014年～2020年に実施した大型基幹システム（開発期間10か月以上）の他社見積もり期間との比較平均値



Voice

お客様が本当に使いやすいものを届けたい

J B C C株式会社  
SI事業部  
SIビジネス開発  
標準化推進  
やじま かとる  
矢嶋 悟 さん

ゴルフ練習場を利用する一般の方が使うシステムです。スマホで簡単に操作できる使いやすいものにするため、店舗にお邪魔して実際に使用する場面を観察させていただきながら開発しました。利用する皆さんが「便利なシステムだから、また利用したい」と思ってもらえたら嬉しいですね。



### 社員一人ひとりの“挑戦”する気持ちを育み、 多様な人財が活躍できる人財育成に取り組んでいます。

JBグループでは、それぞれの立場でいきいきと働ける環境を整え、Z世代～80歳を超えてなお現役の極（きわみ）<sup>\*1</sup>まで、世代を超えたメンバーが活躍しています。雇用の創出を通して価値創造企業を目指し、これからも持続可能な社会の発展に貢献していきます。

#### 世代を超えた営業としての誇り

**北川** 入社して2年、リレーション営業として、サービス業と非製造業のお客様を担当しています。JBグループは歴史がある一方で、Style Jなど新しいことにも挑戦していて魅力的だと思い、入社を決めました。

**鈴木** 元々はサービスエンジニアとして入社しましたが、縁あって30年ほど前から営業職をやっています。いま担当しているのは、昔からお付き合いのあるお客様が中心。直接訪問してお悩みを聞き、社内の専門スキルのある人につなげるという橋渡しのような役割をしています。最近はウェブ会議も増え、慣れないので悪戦苦闘です。

**北川** ウェブ会議は雑談がしづらくて、お客様と仲良くなるのが難しいですね。



**鈴木** ハートが伝わらないんだよね。会えば雑談から、何か話が出てくることもあるんだけど。本音は対面式のほうが良いけれど、営業のやり方もこれから変わっていくでしょうね。営業として心掛けてい



JBCC株式会社  
営業 第一事業部  
第一営業部  
きたがわ じゅん  
**北川 諄** さん (25歳)

JBサービス株式会社  
サービスソリューション営業事業部  
東日本営業部  
すずき かずや  
**鈴木 一八** さん (80歳)

とは、いかにお客様目線になれるか。営業は、100社あれば100通りのやり方があるから難しい。常に、何を求められているかを的確に理解して、適切な提案を出すことが肝要です。自分なりにシナリオを作ってアプローチして、うまくハマった時はうれしいですよ。数字だけじゃない、営業の醍醐味、やりがいです。

**北川** 自分も最近、営業として知識を付けるだけでな

く、お客様の本音やニーズを引き出す、信頼関係を作ることが重要だと考えるようになりました。

JBグループは歴史のある会社ですが、昔と変わったところ、良くなったところはどこですか？

**鈴木** 昔は典型的な日本企業でしたよ。いまは日本企業のいいところと、外資系っぽいところも混ざって、いいバランスになっていますね。そもそもの成り立ちが、今というベンチャー企業のような会社です。だからかな、新しいことに最初に挑戦する風土は昔から変わらないですね。わたしたちの時代は、将来をあまり深く考えずに就職するとか、精神論で頑張るところがあったけれど、時代はだいぶ変わりましたね。今の若い人は、どんなところに目標を持っていますか？

**北川** 今は、業界のトレンドや、自分が成長できるか、会社が自分に合っているか、そういうことを考えて就職す

る人が多いと思います。いろいろな価値観がある世の中ですが、個人的には将来マネジメントができるように、日々の仕事の中で成長していきたいと考えています。

**鈴木** コロナで価値観もガラッと変わったし、若い人には新しいやり方で頑張してほしいです。私は従来通りの営業スタイルかもしれないけど、会社にどう貢献していけるかを考えながら、働き続けていきたいですね。

**北川** はい。まだまだ心もとないので、鈴木さんの背中を見て、従来のやり方の大切な部分やいいところを取り入れていきたいです！



#### 社員一人ひとりにあった働き方 Style J

JBグループは、時間、場所、年齢、組織を問わず、一人ひとりが自律した柔軟な働き方ができることを目指し、ニューノーマル時代の新しい働き方を推進する包括的な人事施策「Style J（スタイル ジェイ）」を導入しています。社内外で活躍できる複業<sup>\*2</sup>制度の導入やこれまでの人事施策の統合など、それぞれニーズにあった制度を選択できるようにしています。また、これまで培ったスキルや経験を活かして働き続けたいという希望と意欲を持つ社員に対し、継続雇用の上限を設けず、やりがいを持って長く働ける環境を提供しています。

<sup>\*1</sup> シニアが活躍する、70歳までの再雇用制度：匠（たくみ）／70歳以上の働き方制度：極（きわみ）プログラム

<sup>\*2</sup> 通常「副業」と記載しますが、「正」「副」の区別なく“複”数の働き方を実現することを意図し、「複業」と記載しています。



## 会社概要 (2023年3月31日現在)

社名	J B C Cホールディングス株式会社 (JBCC Holdings Inc.)
本社所在地	〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー13階
設立年月日	1964年4月1日
資本金	47億13百万円
グループ社員数	1,984名 (有期社員を含む連結ベース)
ホームページ	<a href="https://www.jbcchd.co.jp/ir/">https://www.jbcchd.co.jp/ir/</a>

## SNS



Twitter

<https://twitter.com/jbcchd>

社長Twitter

<https://twitter.com/higashiuejbcc1>



Facebook

<https://www.facebook.com/jbcchd>



YouTube

<https://www.youtube.com/jbcchd>

## 株主メモ (2023年3月31日現在)

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 電話 042-204-0303 (通話料有料) 受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日等を除く) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 公告掲載URL	東京証券取引所 <a href="https://www.jbcchd.co.jp/">https://www.jbcchd.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない 事故、その他のやむを得ない事由が生じた 時には、日本経済新聞に公告いたします。)



## 株主様Webアンケートご協力をお願い

今後の経営やIR活動に反映させていただくため「株主様Webアンケート」を実施いたします。当社ホームページよりご回答ください。回答いただきました方の中より、抽選で200名様にAmazonギフトカードEメールタイプ(1,000円分)を進呈します。なお、環境への配慮から、はがきによる回答を廃止し、Web回答のみとさせていただきます。何卒、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

※お寄せいただいた情報は、当アンケート以外の目的には使用いたしません。

回答期限

2023年7月21日(金)まで <https://www.jbcchd.co.jp/ir2023/>



## お知らせ

株券電子化後、配当金の口座振込のご指定は配当金振込指定書を各口座管理機関(証券会社など)を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定の詳細なお手続きにつきましては、お取り引きのある口座管理機関にお問い合わせください。

## JBCCホールディングス株式会社

決算などの財務情報に関するご質問は

e-mail : [ir@jbcc.co.jp](mailto:ir@jbcc.co.jp)

